2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科目	区	分	基礎分野	授業の方法	演習
科目名	コンピュータ演習Ⅲ		必修/選	፪択ℓ	り別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び	「曜日	寺限	前期	教室名	本館2階PCルーム
担当教員	BSC	実務経験と その関連資格						

《授業科目における学習内容》

医療系の業界に進むことを希望する学生に対し、医療の現場で必要なExcelのスキルを習得させるための講座。Excel応用問題の表作成、関数、グラフ作成等を中心に学習を進める。

《成績評価の方法と基準》

出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%:內訳(定期試験40%、課題30%))

《使用教材(教科書)及び参考図書》

イーラーニングテキスト

リアルタイムやオンデマンド形式でも学習できるように動画を活用したハイフレックス教材となっております。

《授業外における学習方法》

自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。

《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	COUNTIF関数やピボッドテーブルを使用したアンケート集計ができる		イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
		各コマに おける 授業予定	アンケート分析、データ集計	プレゼン応用A	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標 効果的なグラフの作成方法を理解し、活用できる			イーラーニングテキスト
2 回 刑	個習 形式	各コマに おける 授業予定	グラフの活用	プレゼン応用B	で講義の内容を確認しておくこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる		イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
3	演習形式	各コマに おける 授業予定	折れ線グラフ/複合グラフ/100%積み上げグラフ/レーダー/ス パークライン	Excel応用D (グラフ応用)	
第	講義演	選しての 到達目標 各コマに おける 読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		実務資料作成1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
4 1	興習形式				
第 5 回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標			イーラーニングテキスト
		各コマに おける 授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする	実務資料作成2	で講義の内容を確認することができます。

授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 3	実務資料作成3	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。
6 □	習形式	各コマに おける 授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		
	講義演	授業を 通じての 到達目標	AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身に着け、適正かつ有効に活用できる	AIリテラシー	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。
	留形式	各コマに おける 授業予定	社会でのAI活用事例、AIでできること・できないこと、画像認識体験、AIの欠点や問題点、ディープラーニングの仕組み		
**	講義演	授業を 通じての 到達目標	データの特徴を数値化できる(平均、分散、標準偏差)	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
8 回	習形式	各コマに おける 授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方	かる クリイエンス(統計編)1	
第	講義演	型達目標 グラムの作成) 各コマに 分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグ おける) ラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
9	図習形式			エンス(統計編)2	
第 10 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	データの特徴を視覚化できる2 (散布図、相関係数を求める)	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
	習形式	各コマに おける 授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数 の算出	かる クリイエンス(統計編)3	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	統計的検定を実施できる1	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
11	習形式	各コマに おける 授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t 検定(一対の標本の平均値の差の検定)/F検定(分散の検定)	かる グッコエンス(統計編)4	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	統計的検定を実施できる2	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
12 回	習形式	各コマに おける 授業予定	t検定の種類、使い分けについて/t検定(独立2標本の母分散が等しい平均値の差の検定)/t検定(独立2標本の母分散が等しくない平均値の差の検定)	か成プラッコエンス(統計編)5	
第	講義演	週ピての 里四帰分析の意味を埋解でさる 1 1 1 1 1 1 1 1 1		初級データサイ	イーラーニングテキスト
13	習形式	各コマに おける 授業予定	重回帰分析/復習(相関・度数分布表(ヒストグラム)・t検定)	エンス(統計編)6	でこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
第 14 回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	分散分析の意味とその使い分けについて理解できる	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
		各コマに おける 授業予定	1元配置の分散分析(対応のない因子の場合)/2元配置の分散分析(対応のある因子の場合)/独立性の検定(カイ2乗検定)/死亡率・生存率・罹患率の算出	が成ノータリイ エンス(統計編)7	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	初級データサイエンス(統計編)で習ったことを実践できる		イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
15 回	個習形式	各コマに おける 授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習問題の実施	Excel統計まとめ	